

北欧ダブルインカム・ファンド - 予想分配金提示型 -

追加型投信／海外／資産複合

第19期 2019年1月28日決算 第20期 2019年5月7日償還
作成対象期間 (2018年10月30日～2019年5月7日)

第20期末 (償還日 2019年5月7日)	
償還価額	7,148円17銭
純資産総額	1,726百万円
第19期～第20期	
騰落率	△2.1%
分配金合計	40円

*騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- ◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
- ◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→
ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「北欧ダブルインカム・ファンドー予想分配金提示型」は、信託約款の規定に基づき、2019年5月7日をもって信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、北欧高配当株マザーファンドおよび北欧ハイイールド債券マザーファンドへの投資を通じて、主として北欧地域の相対的に高利回りの株式および債券に投資することにより、高水準のインカムゲイン(利子・配当収益)の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

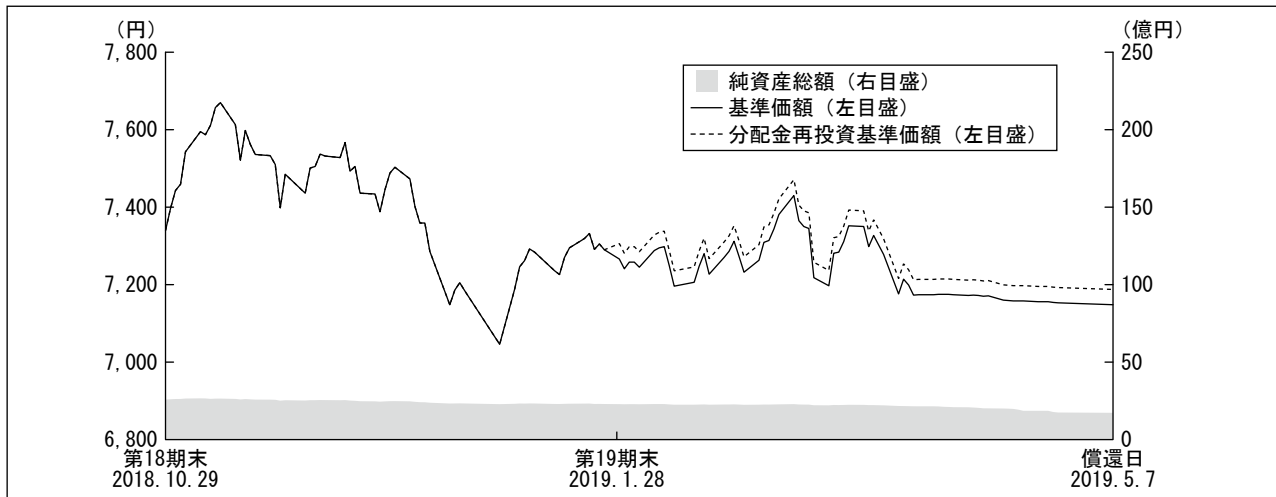


三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第19期首： 7,340円

償還日： 7,148円17銭（作成対象期間における期中分配金合計額 40円）

騰落率： $\Delta 2.1\%$ （分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、北欧高配当株マザーファンドおよび北欧ハイイールド債券マザーファンドへの投資を通じて、主として北欧地域の相対的に高利回りの株式および債券に投資を行いました。

（上昇要因）

北欧株式市場が現地通貨ベースで概ね上昇したことが上昇要因となりました。また、債券の利息収入を享受したことなども上昇要因となりました。

（下落要因）

北欧通貨が対円で下落したことなどが下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第19期～第20期		項目の概要
	2018年10月30日～2019年5月7日		
	金額	比率	
信託報酬	74円	1.014%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は7,298円です。
(投信会社)	(39)	(0.538)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(33)	(0.453)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.023)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.025	売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.025)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用	10	0.139	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.076)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(5)	(0.063)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	86	1.178	

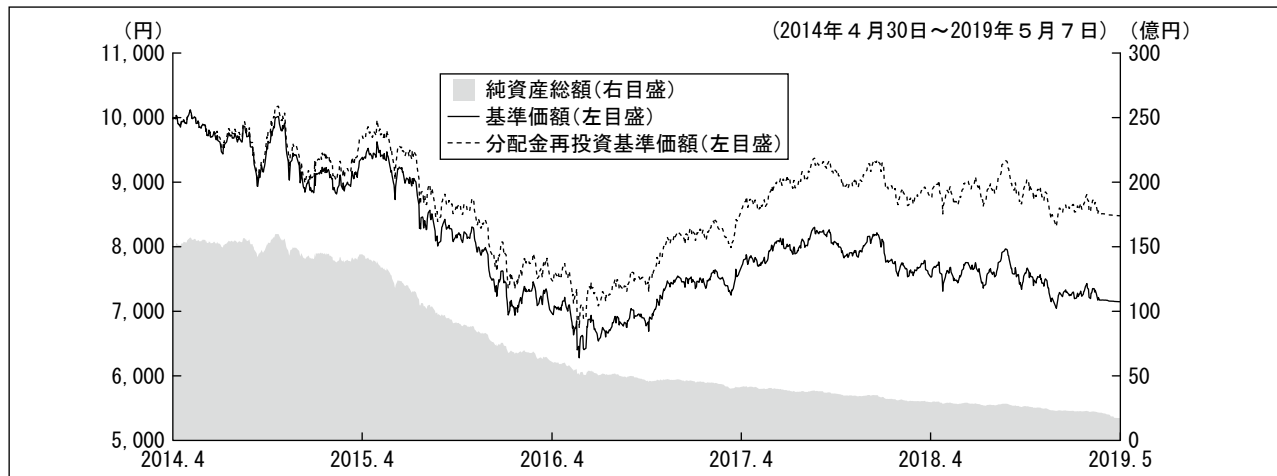
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2014年4月30日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年4月30日 設定日	2014年10月27日 決算日	2015年10月27日 決算日	2016年10月27日 決算日	2017年10月27日 決算日	2018年10月29日 決算日	2019年5月7日 償還日
基準価額 (円)	10,000	9,160	8,226	6,898	8,056	7,340	7,148.17
期間分配金合計(税込み) (円)	—	150	320	250	330	280	40
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.9	△ 6.9	△ 13.2	21.8	△ 5.5	△ 2.1
純資産総額 (百万円)	14,759	14,542	9,264	4,743	3,631	2,579	1,726

【投資環境】

■株式市場

当作成期の北欧株式市場では、北欧の代表的な株式指数であるVINXベンチマーク・キャップ指数は上昇しました。国別では、スウェーデンの代表的な株価指数であるOMXストックホルム30指数は上昇、フィンランドの代表的な株価指数であるOMXヘルシンキ全株指数は上昇、デンマークの代表的な株価指数であるOMXコペンハーゲン20指数は上昇、ノルウェーの代表的な株価指数であるオスロ・ベンチマーク指数は下落しました(ユーロ・ベース)。

当作成期は、原油価格の下落を背景にノルウェー株式市場が下落して始まりました。その後、2018年末にかけてグローバルで市場ボラティリティ(価格変動性)の上昇や投資家のリスク回避的な動きが強まったことで北欧株式市場も下落しました。なお、北欧地域の経済指標は概ね良好でした。2019年の年明け後は、売られ過ぎた反動や、懸念されていたほど悪くなかった決算発表などを背景に北欧株式市場は上昇基調となりました。償還日にかけては、ドイツの製造業PMI(購買担当者景気指数)など経済指標が弱含んだことから景気減速懸念が意識されるようになり、相場の重石となりました。

■債券市場

作成期初から2018年末にかけては、米中の貿易戦争リスクや株式市場でのボラティリティの上昇、原油価格の下落、地政学リスクなどが嫌気され、金融市場全体が調整色を強めるなかで社債市場のスプレッドはグローバルで拡大基調となりました。2018年12月、FRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利を0.25%引き上げ、また、スウェーデン中央銀行も0.25%の利上げを実施しました。一方、ノルウェー中央銀行およびECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置きました。2019年の年明け後は一転、金融市場は反発し、グローバルで社債スプレッドは縮小しました。原油価格の上昇や市場ボラティリティの低下が見られ、起債市場も緩やかながらも徐々に活気を取り戻しました。3月にはノルウェー中央銀行は政策金利を引き上げ、一方で政策金利の利上げ見通しは引き下げました。ノルウェーのインフレ率は当局目標を上回った水準にあり、利上げしやすい環境となっていました。こういった環境のなか、北欧社債市場のスプレッドは縮小基調となりました。一方、グローバルでは主要中央銀行は慎重な景気見通しとともにハト派色を強めており、ECBは3月の会合で利上げ時期の先送りと銀行への新たな資金供給策を決定しています。

【ポートフォリオ】

■北欧ダブルインカム・ファンドー予想分配金提示型一

主要投資対象である北欧高配当株マザーファンドおよび北欧ハイイールド債券マザーファンドを作成期を通じて組み入れました。その後、2019年5月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2019年5月7日に満期償還いたしました。

■北欧高配当株マザーファンド

当作成期の騰落率は、+1.7%となりました。

主要投資対象である北欧株式を高位に組み入れたことで、北欧株式市場および為替市場の影響を強く受けました。当作成期においては、銀行や不動産といった金融セクターを中心に、幅広いセクターに分散投資を行いました。株価上昇などによって配当利回りの低下した銘柄は適宜入れ替え売買を行い、市場を上回る配当利回りを維持しました。

2019年4月の償還に向けて組入株式を全売却し、2019年4月26日に繰上償還いたしました。

■北欧ハイイールド債券マザーファンド

当作成期の騰落率は、△3.6%となりました。

主要投資対象である北欧ハイイールド債券を高位に組み入れたことで、北欧ハイイールド債券市場および為替市場の影響を強く受けました。当作成期においては、産業セクターや金融セクター、テクノロジーセクターに幅広く分散投資を行いました。

2019年4月の償還に向けて組入債券を全売却し、2019年4月26日に繰上償還いたしました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第19期40円とさせて頂きました。(1万口当り税込み)

なお、第20期につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第19期	
	2018年10月30日 ~2019年1月28日	
当期分配金 (円)	40	
(対基準価額比率) (%)	0.55	
当期の収益 (円)	40	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	211	

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

信託期間終了日が休日となることに伴う信託期間の延長に係る約款変更を行いました。(2019年1月30日付)

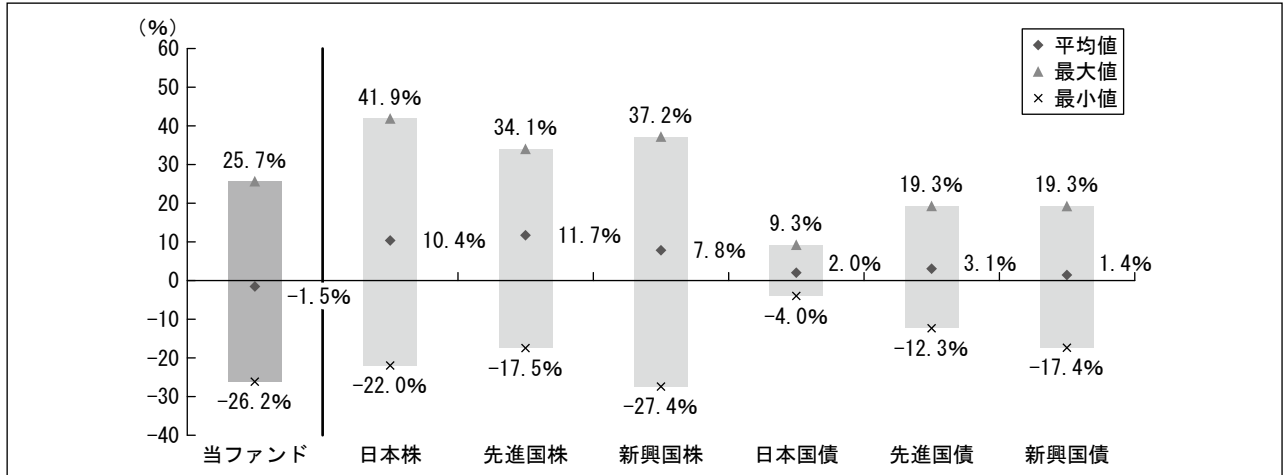
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2014年4月30日～2019年5月7日（約5年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として北欧地域の相対的に高利回りの株式および債券に投資することにより、高水準のインカムゲイン（利子・配当収益）の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	北欧高配当株マザーファンドおよび北欧ハイイールド債券マザーファンドの受益証券
	北欧高配当株マザーファンド	北欧地域の株式
	北欧ハイイールド債券マザーファンド	北欧地域の債券
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・株式への投資にあたっては、主に北欧地域の金融商品取引所に上場している株式の中から、配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 ・債券への投資にあたっては、主に北欧地域のハイイールド債券等を中心に投資します。 ・株式と債券の実質投資配分は各々50%±20%程度の範囲内とします。 ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月、4月、7月、10月の27日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2015年4月～2019年4月
 代表的な資産クラス：2014年5月～2019年4月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

- *当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。
- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- *騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

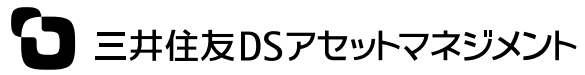
≪当該投資信託の組入資産の内容≫

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

【純資産等】

項目	第19期末	償還時
	2019年1月28日	2019年5月7日
純資産総額	2,286,183,615円	1,726,978,578円
受益権総口数	3,146,520,633口	2,415,974,273口
1万口当り基準価額（償還価額）	7,266円	7,148円17銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は5,598,035円、同解約元本額は1,104,430,517円です。



三井住友DSアセットマネジメント